

小網代の森と干潟を守る会
小網代 森と干潟つうしん



モリちゃんとかたくん干潟デビュー

森も海も干潟も 奇跡の集水域生態系を未来の子どもたちへ
小網代の森と干潟を守る会
〒238-0111 神奈川県三浦市初声町下宮田 261-5
代表 高橋 伸和 E-mail: info@koajiro-higata.com
TEL.046-889-0067 (仲澤)
URL: http://www.koajiro-higata.com
年会費：一般会員 ¥1000 賛助会員 ¥5000 (入会金不要 7月～6月)
郵便振替：00260-4-21569 小網代の森と干潟を守る会

2014.7.20 小網代の森一般開放

小網代の森初歩き

みんなで歩こう小網代ファン大集合！



小網代の森オープン初歩きに寄せて
三崎口駅前では会の旗を掲げて改札口をでてくる方たちを見つめているとたくさんのニコニコ顔がこちらへやってきます。大空の太陽も微笑んでくれるよい天気の下で保全完了し整備が整った小網代の森が今日から一般開放されるのです。長い間、そうです四半世紀以上の30年もみんなで努力した結果素晴らしいことが成し遂げられたことを自分の目で確かめようと多くの仲間が集まりました。森にすむ虫や魚、鳥やけものたち、それらを養う木や草やキノコもみんながお祝いする森へさあ元気に出発しましょう。この日を見ることができなかった仲間たちも空の上からどうぞ一緒に森の色に染まりましょう。

小網代の森と干潟を守る会 代表 高橋伸和

※ アカテガニ広場から NPO 法人小網代野外活動調整会議のボランティアワークに参加しました。



ご参加の皆さまからのメッセージ

森が大好きな仲間たちから、たくさんのメッセージを寄せていただきました。

久しぶりの小網代の森を歩いて、本当に、幸せでした！
ありがとうございました。

A.T



初めて小網代に来ました。自然を守ろうとこんなにも多くの(年代も仕事も様々な!!)人が活動していることを知り、感動しました。
関東にあそびにきたら、また来たいです。

小網代の森 守る会に
続けて入っていてよかったと思
いました。

今度は
ゆっくりと森を歩きたいです。



幸せって、干潟でダンスする
チゴガニを見ていること。二十
年前からずっと変わらずに、こ
れからも ずっと。

おめでとうございます
長い間のみなさまの思いが実
ってよかったです。
とてもきれいに整備された道
でびっくり!! しました。

K.K



しぜんで、海もある、すてきな
ところで、よかったです。

S.O



30年の皆さまのチカラのつ
みかさねがみのり、小網代の
森が美しいまま守られること
になり、感謝の念でいっぱい
です。
夏のボードウォークではしお
からトンボやアゲハが迎えて
くれました。すずやかな風の中、
楽しい森あるきでした。
これからの管理がうまくゆきま
すように！

K.S



守る会に入ったばかりの者で
す。今回が会の行事初参加で
す。
岸先生の大きさに圧倒されま
すが、たまたま近く(横須賀)
に住みはじめたことを幸運と、
これからできることをやってい
きたいと思います。

よろしく願いいたします。

M.K

初めて上から下まで歩きまし
た
とても さわやかで美しく
感激しました。心に残る方達
の思い出 いつまでも大切に
したいです。

I.N

エノキテラス、解散
岸先生のお話、とてもおもしろ
かったです。
汗も少し流しながら、皆さんの
手伝ができ、これからも協力
できる事があれば参加してい
けたらと思っています。これか
ら小網代へ足をはこびたい
と思います。

Y.M



こ網代の谷と自然とふれあえ
て、楽しかったです。
26日のアカテガニにも、さん
加します。



小網代の森 久しぶりに
来ました。
改めて 素敵な所だと感じ
ました。





夢が現実になって素晴らしいことです。少しでもお手伝いでき、自分の人生も、おかげ様で良くなりました。

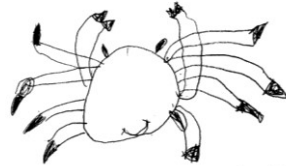
ふだんばきで谷を下る、道すがらの景観の美しさに感動しました。歩くにつれて景色も移り変わり、ウグイスのさえずり、トビの声、ウシガエルの声。小網代の森を五感でたんのうしました。

M.H

森の風とかおりがとてもなつかしかったです。
ベオウルフの物語りを実感しました。息してるだけで楽しかったです。

J.Z

たのしうた



みちうより



京急テラスで、
カワセミとオニヤンマ

S 記



木道が出来て
夏のウォークが出来るようになったことが嬉しい。

K.M

るんるん気分で歩いた木道
—カラスアゲハの吸引も見たし、コナギ、ミズオオバコ、イグサ、トチカガミ、アギナシなど田んぼでしか見られない水草にも会え、貴重な森だと思いを深くした、ボランティアウォークでした。

K.S

久しぶりに小網代に来ました。6年ぶり、くらいでしょうか…。

すっかり変わっていてびっくりしましたが、豊かな緑、やさしい風にいやされました。

岸先生のお話をうかがい、10年後、20年後…小網代はもっともっと豊かになることがわかり、年をとっても訪れたいなと思いました。

素敵な時間をありがとうございました。

K.S



これからも頑張ってください。



アカテガニ軍手



ボランティアウォークに参加して記念品をいただきました。
NPO 法人小網代野外活動調整会議からグッズを購入して、小網代の森を応援しましょう。

アカテガニ軍手 500円
イベント開催時に干潟で販売しています

新聞にも紹介されました

【7/20 神奈川新聞】県保全方針から20年 20日から小網代の森一般開放 環境親しむ場に

【7/18 朝日新聞】小網代の森に散策路が完成 20日オープン

小網代の森の利用について



小網代の森の利用について県のホームページにまとめられています。禁止事項もありますのでご来場の際はご注意ください。

(<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530740/>)

(以下、地図を含め県のホームページから流用しています)

開場時間

4月から9月まで 8時30分から19時まで

10月から3月まで 8時30分から17時30分まで

小網代の森管理要綱

1. 小網代の森内で次の行為を行う際は、申請が必要です。

- (1) 物品を販売し、または配布すること。
- (2) 展示会、集会等で小網代の森の全部又は一部を占有使用すること。
- (3) 映画やテレビ番組等の撮影等に関すること。
- (4) 募金、署名運動、勧誘、宣伝活動、アンケート等の行為を行うこと。
- (5) その他小網代の森の管理に支障を生じるおそれがある行為を行うこと。

2. 小網代の森の中での次の行為は禁止されています。

- (1) 小網代の森を損傷又は汚損すること
- (2) 動植物の採取、殺傷、持込み
- (3) ペットの散歩
- (4) 施設の設置や土地の改変を行うこと
- (5) 立入禁止区域に立ち入ること
- (6) キャンプをすること
- (7) 喫煙、たき火など火気を生じさせる行為
- (8) ゴミの投棄
- (9) ほかの利用者、近隣住民等に迷惑をかける行為
- (10) その他小網代の森の利用、管理に支障を及ぼす行為

夢の実現にむかった大きな力も小さな力も 20 日に集合！ 天国からの応援もあり！

小網代の森を守る会は1990年に発足ですが、その前から小網代から学ぶ会、ポラーノ村を考える会などが三浦市に計画されたゴルフ場問題に多くの関心を寄せていました。その頃から、いろいろ協力して守る側を支えて来てくださった方々が64名も集まり、晴天の下、夢の実現を喜び合うことができました。

2年余りの闘病で故人となってしまった15年以上も会計を担当して下さったNさんの御夫君が写真を手に涙ながらに声をかけながら歩く姿は周りのスタッフの涙を誘いました。ありがとうございましたね。Nさん！

小学生1年の子供さんと歩きカワセミとアカテガニのシールのデザインをして下さったKさん。

会の発足間もなく資金稼ぎで出店していただぶ板バザールで会員になり、森に家族で通っていたSさんはご家族5人で参加。ポケットにカニを入れて帰ってしまい、後で森に返しにきたエピソードは今も忘れられません。

2010年ごろ森で出会い、熱心なスタッフとして黙々と安心感をみんなにくれる活躍をして下さったOさんのご家族も2年前のおじいちゃんの足跡をみながら散策に参加してくださいました。

ヨコハマ買出し紀行という漫画の舞台=聖地訪問で干潟のクーラーボックス(当時、ここにノートをおいて訪問者の感想などを書いてもらっていました。)があまりにも見苦しいので新しいボックスを購入してと寄付を寄せて下さったSさん。その後もずっと心を寄せてくださり、2回目の邂逅となりました。

「この森をいつまでも」という看板を勝手に干潟に立てていたとき、丁度、森から干潟を通り抜けていたAさん、同じ職場にいたこともあり、書字が抜群にうまいので、お願いしたら快く書いて下さいました。いま、この森はいつまでも状態を作ることが出来ました。お祝いに久しぶりで来て下さいました。

アカテガニが自分の住んでいる徳島にもいるということで、会と交流のあった方が横須賀に住むお孫さんに今日20日の案内をしてくれたので・・・という参加者もいて、嬉しいことでした。

ポラーノ村で活躍し、岸先生の「いのちあつまれ小網代」の著作を発行してくれた木魂社のSさんからは「案内ありがとうございます。よんどころない所で伊勢に行っています。云々」とお便りを頂きました。

また、三浦市小網代在住で守る会発足からスタッフ会議には美味しい漬物をいつも沢山持ってきて下さっていたYさんの娘さんからは「予定が入っていて参加できません。母の写真を持って歩きたかったです。皆様のご努力が実り、素晴らしい小網代の森が実現し、天国の母も喜んでいと思います。後略 晩年の母の人生に生きがいを与えて下さった皆様に感謝です。」と頂きました。次の機会にもお誘いしますね。

芋虫しゅんちゃんとニックネームされたSさんも「2歳半の息子を連れてお邪魔したい所ですが、あいにく・・・。」とお便りを下さいました。

父親の介護で残念ながらでかけられない、腰がいたくてマイペースでなければ歩けないなど団塊世代特有の事情で初歩きに参加できないと森に文章や写真を寄せて下さった方々が残念を伝える葉書も何通もいただきました。

また、自分の属している団体の定例会で参加できないと伝えてきた鎌倉のKさんは小網代の森がこれからも人の和を重ねて生き物がにぎわう場として皆様に愛されていくようお祈り申し上げます。これからは本当のスタートですね。と新たな門出を祝う言葉を頂きました。

守る側の30年前の署名活動でお世話になった職員組合の元書記長も福島県からお祝いを寄せて下さいました。

難しい注文にもかかわらず、カニパト大型紙芝居の木枠を作ってくれたSさんからは生憎引っ越しの日で都合が悪いけれど、また、出かけたいと返事を頂きました。

最後に初歩きに参加したKさんの感想です。

「今日は初歩きに参加できとも楽しく過ごすことが出来ました。久しぶりの小網代ではまるで尾瀬か戦場ヶ原のようになんてキレイな場所なんだろうと改めて思いました。岸先生の講話が学ぶ所が多く聞いてよかったです。草取りも皆さんが楽しそうにしているのを見てああ皆さん、ここを愛しておられるんだなあと感じました。これからは気軽に訪ねる事ができるので、季節ごとに歩きに行こうと思います。いただいた本、とても面白かったです。では、皆さんによろしくお伝え下さい。」他にも岸先生の話がとてもよかったです。感動したと伝えてくれた方々がおります。

ここでは伝えきれませんが、もっともっと大勢の皆様森への思いが大きな力となって、保全を推進させてきたことは間違いのないことなのでしょう。

今回はお伝えできませんでしたが、実際の保全の推進者である神奈川県関係者のご尽力には本当に頭が下がります。詳しくは語られないのですが、1995年の故長洲一二さんの「いろいろな手法を使って保全」の決定を歴代の県知事さんたちは守って、実務者たちはその意思をついで、苦しみながらも知恵をだし、20年もの長い間、保全の推進に邁進してくださいました。深く深く感謝申し上げます。いつか、その細かいお話が伺えることを楽しみにしています。

「ぼくはきっとできると思ふ。なぜなら ぼくらがそれをいまかんがへて いるのだから。」ポラーノの広場

第 122 回 自然観察 & クリーン

小網代干潟のカニと生きもの



天候にも潮にも恵まれた6月14日(土)の小網代干潟はもうすっかり夏の暑さでした。参加者は大人・子ども・スタッフ合わせて20名。手に手に観察用具を携えて、干潟を歩きます。チゴガニやコメツキガニのほか、ハマガニやケフサイソガニ、アシハラガニなどたくさんのカニに会うことができました。マメコブシガニの歩く様子やカニのダンス、オサガニやヤマトオサガニの目玉ををゆっくり観察します。共生しているハゼとテッポウエビをセットで捕まえたお子さんは、自分でもびっくりしたようです。アメフラシの仲間タツナミガイはヌラヌラして気持ち悪いけど、これも連れて行って、アカテガニ広場で披露します。講師の説明にホォー！ヘェー！を連発した後、生きものたちを海へ戻して解散です。梅雨の晴れ間、初夏の小網代にゆったりと流れる時間を楽しみました。

(文:橋 美千代、写真:松下景太)

ご参加の皆さまからのメッセージ

6月の小網代干潟の温度は晴れると25度以上30度近くになり、日差しはもう夏です。

さわやかな風、いろいろな色の木々の緑、潮のにおい、水の流れ、干潟の生物、のんびりと豊かな時間を過ごさせていただきました。皆さまの活動に感謝いたします。

T

久しぶりに昼の小網代を堪能出来ました。ありがとうございました。2年ぶりで、整備が進んでいてびっくりしました。今後よろしくお願いいたします。

T.H



小網代の森を歩いたら
頑固じい頑固ばあさんの謎が
解けた、スススとまじめました。
や事実なら 部分の謝罪 理由はあは
く小網代マン / 〆

水の面がキラキラ光る、アカマガシワの木陰でチゴガニのダンス、まわりにコメツキガニがうろうろ。穴があいているのはカニさんたちがにげこむシェルターでしょう。ホトギスの声と、よい観察会でした。

K.S

好天にも恵まれ、お世話下さった方々も和気あいあい、よいサークルだなあと思いました。カニ等の説明も楽しく拝聴致しました。近々一般に開放することですが、大勢押しよせて、動植物を持ち帰ったり、ゴミを捨てる人がふえる事を心配します。

I.T

2度目の参加でした。梅雨の晴れ間、快晴！大好きなホトギスの声がエコーする中干潟の生物を観察させて頂きました。楽しく、とにかく気持ちのよい1日でした。ありがとうございました。(鳥は14種確認)

R.T

※ 観察会は NPO 法人小網代野外活動調整会議と共催で実施し、アカテガニ広場を使わせていただきました。

※ 一部森に立ち入ったかのような表現がございますが、通行が制限されていない部分のみを歩きました。

さがしてみよう、石にあなをほるコツブムシ

川崎 祐介(造形オフィス狸化室)

かんさつ会で小網代(こあじろ)ひがたを歩くと、石をひろいあげて、はば8ミリほどのあながボツボツあいていたら、中をのぞいてみてください。ダンゴムシがおしりをむけてかくれています。みわたすと、あちこちの石にもたくさんのあながあいていて、ひとあなひとあなに、きもちわるいくらい、かくれています。これは『コツブムシ』という生きもので、あなはこのムシが石をすこしずつかじってあけたものです。石はもとのぼしよ、もとのむきに、そっともどしましょう。

コツブムシにはよくにたなかまがたくさんいますが、海べりや川べりの木や石にあなをほるものは、いまのところ日本には『ヨツバ・コツブムシ』『ナナツバ・コツブムシ』『イワホリ・コツブムシ』の3しゅるいいることがわかっています。どれがいるかはところによってちがいますが、小網代でみられるのはおもに『ナナツバコツブムシ』のようです。

3しゅるいとも石をほりますが、あまりかたい石はほらず、みなさんの手でけずれるほどやわらかな石(泥岩、凝灰岩)をえらんでほることがわかっています。広島県では、やわらかな石でできた小さなしま『ホボロじま』にとてもたくさんのナナツバコツブムシがすみつき、石があなだらけになってくずれ、ついには『ムシにかじられてしまがきえる』という、おどろくようなできごとがおきているそうです。しぜんにそうなるのだから、みまもるしかありません。おなじコツブムシが小網代にもたくさんいます。

おしりの左右そとがわにひとつずつはえた“はね”(尾肢外肢)を、ひらいたりとじたり、よくうごかせるのがダンゴムシとちがうところ。 “はね”には小さなギザギザがあり、あなのなかで“はね”

をつよくひらき、かべにギザギザをひっかけます。そうして、ころげおちたりつまみだされたりしないようにがんばっています。ギザギザが7つあるのがナナツバ、4つがヨツバ。イワホリも4つですが、おしりのいちばん先(尾節後端)が平たいヨツバ、「ひ」の字のように丸いナナツバにくらべ、イワホリは「へ」の字にとがるところがちがいます。イワホリを日本だけのあたらしいしゅるいとするかんがえと、せかいじゅうにひろくすんでいるしゅるいとおなじとするかんがえがあり、先生たちがコツブムシのからだをすみずみまでしらべて、はなしあいをしています。

じつは先生たちもまだべんきょうしているところで、ずかんのにせられることもすくないのです。この作文をかいたわたしは先生ではありません。図工のしごとをしている人です。木やプラスチック、死んだ生きものをつかい、がっき、かぐ、いろいろなどうぐをつくったりなおしたりしています。そこでわたしは、図工のちからと、生きものがだいすきなちからで、コツブムシのひみつをしらべはじめました。たとえば、まどのある小さなおうちを手づくりしてコツブムシにあげたら、そこにすんでくれました。まどがあるから、えさのたべかた、きがえかた、ペットのいかた(別属ウミズムシの共生)までよくかんさつできます。これには先生たちもびっくり。さらに、あなは小さなこども(マンカ幼生)

のころからじぶんでほりはじめ、ときには○○○○をすることもわかりました。○に入ることばはなんでしょう? ずかんにはのっていません。たくさんのひみつ、ほんとうはおしえたいのですが、エビはかせ・カニはかせのべんきょう会(日本甲殻類学会)でさいしょにうちあけるやくそくなので、すこしまってくださいね。いえ、まっけないで、みなさんもじぶんでどんどんしらべて、先生たちをびっくりさせちゃいましょう。



【保護者さまへ】このまま学習指導に転用戴けるよう低学年向けに書き下ろしました(剽窃厳禁)。分類が混乱し、生態もよくわかっていない穿孔性コツブムシについては、十分な知見を提示できる人材が少なく、殆どの水辺指導者が歯切れ悪く口ごもる現状にあります。環境保全是大切ですが、表層的な保護制限を訴えるだけでは本来の保全是成し得ません。多角的な視野から学ばれるべきです。21世紀を担う子供と、自然を守り伝えたい大人との間に、まして全くの異分野から、こうした新知見を提起する人間が現れた事をどう理解するか。ここに学術機関や保全団体の真価が問われます。



【文献】日本地質学会「地質フォト:瀬戸内海中部、芸予諸島、ホボロ島の生物浸食作用」日本ベントス学会誌「潮間帯に生息するコツブムシ科穿孔性等脚類の分布に関する要因」

小網代詩人

セレモニ
戴冠式

中井 由実

立ち入り自粛を求められていた
小網代の森

ルートを確保し

ボードウォークが整備されるまでの間

工事の進捗をききながら

私はこの日を待ちわびていた

その昔は

ゴルフ場開発や

ごみ処分場建設の計画があったとも聞く

関東唯一の完結した集水域

たぐいまれな種の多様性をもつ自然地帯

そう認められてから十年

ソプラノ歌手のエリアが響く中

近郊緑地特別保全地区という冠を授けられ

一緒に四季を遊んできた

小網代のどろんこ王子は

今日 三浦の王さまになった



分かち合いたかった

中井 由実

今日 小網代は自由になった

切り開かれた笹原に平らに伸びる

ボードウオーク

一緒に歩いてアカテガニの穴を見下ろそう

小網代の森の神話の時代を知る仲間達だから

小さなクレームを並べながら

それでも笑顔が大きくなっていくだろう

風の透きとおった匂い

夏の陽を返して光る緑

反響するセミの声とウグイスのさえずり

新しい森ね

新しい森よ

新しい小網代だ

湿地を 谷を見渡すこんなに大きな喜びを

分かち合いたかった

この森を好きだった

先にいってしまった人達と

これからも

中井 由実

巢の真ん中に

きらきらした飾り帯をつくるクモがいるなんて

知らなかった

くつきりと口紅をさしたようなカニがいるなんて

知らなかった

小網代に出会って二十五年

この森はなんてたくさんの秘密を隠しているのだろう

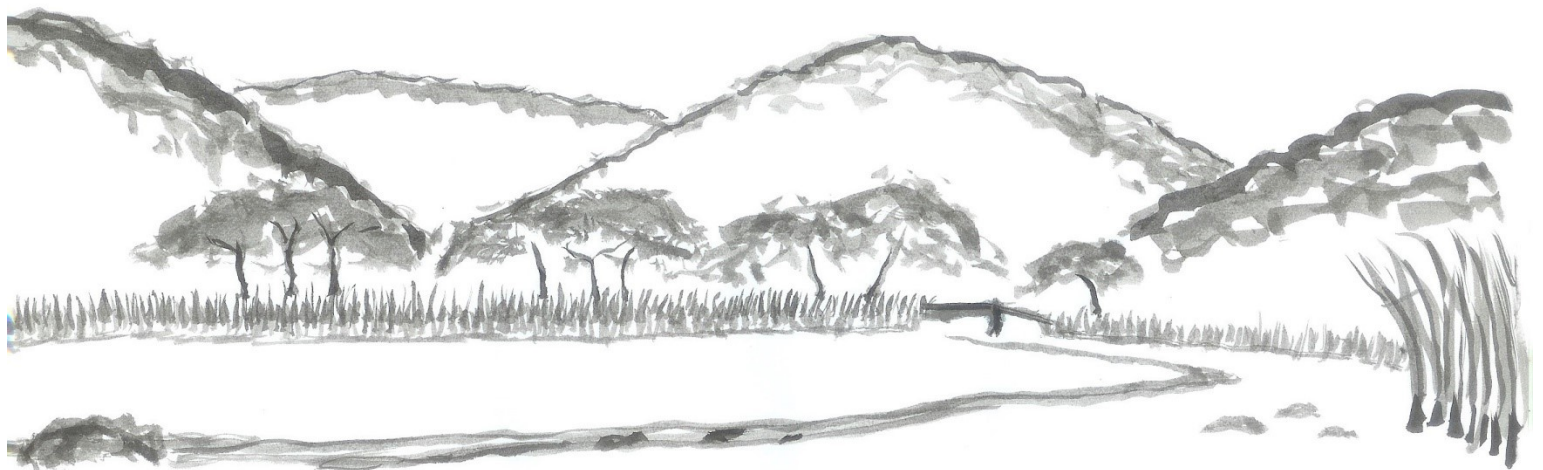
壊されてしまわなくて良かった

まだ存在すら知られていない生き物ごと

小網代

森から干潟を経て海まで

これからもずっとついていくから



随想 小網代でんてん⑬

殻を捨てた貝——ウミウシ

須田漢一

誰だあー、ウミウシを踏んだのは！。

小網代干潟に血が漂った。砂の中の黒い塊は動かない。ウミウシの仲間のアメフラシで、血に見えたのは防禦の煙幕だ、という。

海牛？
うみうし

その名が頭にこびりついた。

6月初旬、佐島の天神島で、ウミウシの観察会が行なわれた。講師のハギワラ氏から「ウミウシは軟体動物で、カタツムリやナメクジ、アワビ、サザエなどと同じ仲間です。巻き貝が殻を脱いだものと思つてもらえばよい。と、いつてもウミウシは分類上の正式な名称ではなく、ニックネームのようなもので、頭に2本の触角を持ち、お尻に花(鰓えら)が咲いたものを、これまではウミウシと呼んでいたが、もっと広い範囲の生きものを指しています。」と説明され、磯に入る。

澄んだ水。潮の引いた水面から飛び出た凝灰岩ぎょうかいがん、随所にタイドプール、遠くに富士山。

こちよいフィールドだった。

その日15種のウミウシ類に出会えた。相模湾には約45種が生息しているというから、この結果はうれしい。

岩の一部を思わせるタツナミガイは、黒茶のぶよぶよした背なが、たくさんの突起で覆われていた。主に藻を食べ、寿命は一年ほど。その短命さに驚く。

シロウミウシは、白色のからだの背面に、丸く黒い斑紋を散らばせ、ふちどりに黄色いアクセントをほどこしたおしゃれな姿だ。

赤い地色のミノウミウシは、背なかに、糸こんにゃくがカールしたような突起をひらひらさせて、軽やかに泳ぐ。

青い地色のアオウミウシ。周辺部を白くふちどり、鰓はうすいピンクという華やかなファッションで生命を謳歌していた…。

ウミウシは貝殻を捨てたことにより、①早く成長でき、②動きやすくなり、③狭いところにも入っていける、自由な生き方ができるようになった、といわれる。なるほど、と思うが、まてよ、と思う。バリアーとなる殻を捨てて、捕食者の攻撃にどう対

処していくのだろうか。さまざまな形をつくることは、奔放ほんぱんになり、奇妙きつさ、みずからの動きに制約を与えるのではないか？

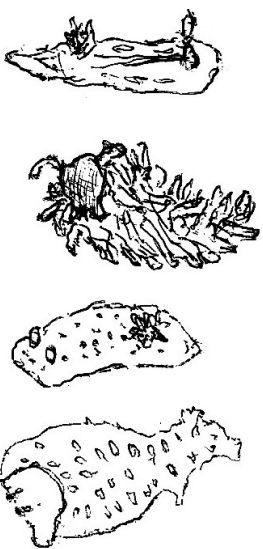
ひよつとすると、ウミウシの形、色彩、模様は、進化の途中の姿かも知れない。こねくり、ひっつけ、削ったりして、試行錯誤の末に定まるであろう、その過程が今、みえているのでは、と勝手な解釈をする。

かつて、オウムガイから枝分かれして、1万5千種も存在していたアンモナイトは、凸凹いびつな形が定まらず、中世代・白亜紀に、ただの一種も残らずに絶滅した、と化石は語る。ウミウシがそうした運命を辿るのか、さらなる進化をとげるのかは、短い人間の一生では見届けることはできない。

岩陰にひそんだり、波の間に間に漂っているウミウシ、よ。よけいなことを考えずに、おれの生き方を、生きていけばよい。

形は、時間が決めてくれる。

(2012 6/23 2013 6/8 観察)



第 25 回 小網代の森と干潟を守る会総会のお知らせ

日 時 2013 年 8 月 25 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所 南下浦市民センター講義室（京急・三浦海岸駅下車 徒歩 1 分）

第一部 総会

第二部 守る会 25 周年記念森歩き !!

小網代保全を支えて下さる会員の皆様、みんなで楽しく、森を抜けて海まで歩きましょう。

30 分ほどの楽ちんな下り道です。

これまで夏の森は草木が生い茂り安全に通行することができませんでした。しかし神奈川県が作ってくれた素敵なボードウォークと、NPO 法人小網代野外活動調整会議の日頃の管理活動のおかげで、誰でも簡単に安全に通行できるようになりました。

先日オープンの式典に参加された黒岩県知事に「まるで尾瀬のようだ！」と絶賛された景色をぜひ見に来て下さい。

長年会員として支え続けてきて下さっているにも関わらず、実際にはまだ一度も小網代を訪れたことがないという会員さんもいらっしゃいます。

そんな皆様方と語り合いながら一緒に森を歩くことは、我々スタッフの夢でした。

この機会に是非ご参加下さい。

行 程
南下浦市民センター → 14:28 三浦海岸バス停 → 14:37 引橋バス停 → 森入口 → 散策 → 干潟

干潟 → シーボニア入口バス停 → 三崎口駅解散（16:30 頃）
190 円 270 円

※ 歩きやすい靴・服装でご参加ください。午後の暑い時間ですので、飲み物・帽子のご用意など熱中症対策をお願いします。

※ 荒天中止 またの機会に

※ 是非ご出席ください。ご都合がつかない方は、同封の委任状を 8 月 25 日（月）までにご投函ください。

小網代の森と干潟を守る会の活動

- 6.14 第 121 回自然観察&クリーン実施
- 6.14 スタッフ会議（於：引橋・三浦市総合福祉センター）
- 6.14 NPO 法人小網代野外活動調整会議・ホテル観察会参加
- 7.7 森初歩き参加おさそいの、ハガキ発送
- 7.20 NPO 法人小網代野外活動調整会議・森オープンボランティアウォーク参加
- 7.20 「楽しい干潟学」新刊のおしらせ リーフレットを配る
- 7.20 NPO 代表理事・岸由二氏に感謝状と森の応援金 10 万円を贈呈

ご寄付ありがとうございます

野内博さま 杉崎泰章さま 鈴木久夫さま 鈴木慶子さま

以上の方からご寄付をいただきました、ありがとうございました

第 122 回自然観察&クリーンのお知らせ

◆今、小網代の植物が面白い！

20年ほど前、小網代の森で時々見かけた植物もその後の森の乾燥化などでいつの間にか姿を消した花もたくさんあります。

ところが、7月20日にオープンした小網代の森では、所々に湿地を取り戻し“皆様、大変お待たせいたしました〜”とばかり、かつて浦の川に沿った道での観察とは違う植物達が新たなステージで来訪の皆さんをお待ちしております。

サア〜どんな花と虫たちに出会えるか楽しみです。

日 時：10月25日（土）

集 合：10:00 京浜急行三崎口駅改札前(トイレがありませんので必ず駅で済ませてください)

解 散：14:00 ころ 現地解散

参加費：無 料

講 師：鈴木清市氏

申し込み：当日現地で受け付けします

持 ち 物：お弁当、飲み物、軍手、雨具、
あれば図鑑、双眼鏡など観察用具
小さなお子様は着替えもあると安心です。

お問合せ：046-889-0067(仲澤)

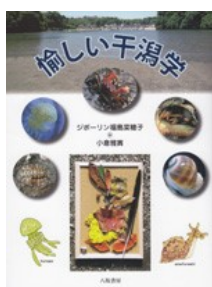


トラスト緑地保全支援会員のおすすめ

◆トラスト緑地保全支援会員になるには

トラスト財団のパンフレットにある申込書に記入して郵送します。またはトラスト財団のホームページ (<http://ktm.or.jp>) から、申し込むことができます。支援したい緑地にはぜひ「小網代の森」をお選びください。通常のトラスト会費(大人 2000 円、中高生 1000 円、小学生 500 円、家族会員 3000 円)の他に 3000 円の支援会員会費が必要です。小網代の森をよろしく願います。

楽しい干潟学



小網代 森と干潟つうしんでお馴染みの

ジポーリンさんと小倉さんのエッセイが単行本に!!

干潟愛あふれるふたりの 満潮コラボレーション

著者:ジポーリン 福島菜穂子 + 小倉雅實

写真:松下景太 イラスト:浪本晴美

発行:八坂書房 A4 変形判 152ページ 定価:1500円(税別)

小網代 森と干潟つうしん NO.135 2014年7月27日発行

森も海も干潟も 奇跡の集水域生態系を未来の子どもたちへ

小網代の森と干潟を守る会

〒238-0111 神奈川県三浦市初声町下宮田 261-5

代表 高橋 伸和 E-mail: info@koajiro-higata.com

電話 046-889-0067(副代表 仲澤)

URL: <http://www.koajiro-higata.com>

年会費: 一般会員¥1000 賛助会員¥5000(7月~6月 入会金不要)

郵便振替 口座 00260-4-21569 加入者名 小網代の森と干潟を守る会

* 既に退会のご連絡をいただいた方にも年度末(6月末)までお届けしております